

昭和 31 年度

# 事業報告書

自 昭和 31 年 4 月 1 日  
至 昭和 32 年 3 月 31 日

昭和三十一年度分事業報告

社団法人日本病院協会

昭和31年度事業報告

(自昭和三一・六・一  
至昭和三二・三・三一)

社団法人 日本病院協会

一、庶務に関する事項

A 会 員 数 地方病院協会、特定病院団体別会員数別紙の通り

R 会 務

(A) 会長及び常務理事補欠選挙

(a) 会 長

三一・六・一六 橋本寛敏が定期理事会に於て選出さる

(b) 常務理事

三一・六・一六 敷波義雄が定期理事会に於て選出さる

(B) 役員の変更

(a) 代 議 員

三一・八・一三 地方病院協会及び特定病院団体に於て、それぞれ改選

(b) 会長、副会長、常務理事、理事、監事

(c) 理 事  
三一・一〇・六 橋本寛敏以下五十九名臨時代議員会に於て選出

(d) 監 事  
三一・一〇・六 石川正臣、伊藤吉孝を臨時代議員会に於て選出

(e) 会 長  
三一・一〇・六 橋本寛敏を臨時理事会に於て選出

(f) 副 会 長  
三一・一〇・六 神崎三益、藤森真治、佐谷有吉を臨時理事会に於て選出

(g) 常務理事  
三一・一〇・六 一見赴夫、莊 寛、守屋博、片山弘、塩沢総一、敷波義雄、田中義邦を臨時理事会に於て選出

(C) 一 般 事 項

富山県病院協会会長、多賀一郎氏国際病院連盟加盟打合せ完了帰国  
橋本会長医療保障委員を委嘱さる  
在常務理事、国際病院連盟加盟手続のため渡欧  
国際病院連盟加盟  
病院協会未改米衛生部長に対し病院協会設立依頼  
青森県病院協会退会(会員四十二名)  
高知県病院協会加盟(会員四十二名)

- 三二・一〇・一三
- 三二・一〇・一四
- 三二・一〇・一五
- 三二・一〇・一六
- 三二・一〇・一七
- 三二・一〇・一八
- 三二・一〇・一九
- 三二・一〇・二〇
- 三二・一〇・二一
- 三二・一〇・二二
- 三二・一〇・二三
- 三二・一〇・二四
- 三二・一〇・二五
- 三二・一〇・二六
- 三二・一〇・二七
- 三二・一〇・二八
- 三二・一〇・二九
- 三二・一〇・三〇
- 三二・一〇・三一
- 三二・一〇・三二
- 三二・一〇・三三
- 三二・一〇・三四
- 三二・一〇・三五
- 三二・一〇・三六
- 三二・一〇・三七
- 三二・一〇・三八
- 三二・一〇・三九
- 三二・一〇・四〇
- 三二・一〇・四一
- 三二・一〇・四二
- 三二・一〇・四三
- 三二・一〇・四四
- 三二・一〇・四五
- 三二・一〇・四六
- 三二・一〇・四七
- 三二・一〇・四八
- 三二・一〇・四九
- 三二・一〇・五〇
- 三二・一〇・五一
- 三二・一〇・五二
- 三二・一〇・五三
- 三二・一〇・五四
- 三二・一〇・五五
- 三二・一〇・五六
- 三二・一〇・五七
- 三二・一〇・五八
- 三二・一〇・五九
- 三二・一〇・六〇
- 三二・一〇・六一
- 三二・一〇・六二
- 三二・一〇・六三
- 三二・一〇・六四
- 三二・一〇・六五
- 三二・一〇・六六
- 三二・一〇・六七
- 三二・一〇・六八
- 三二・一〇・六九
- 三二・一〇・七〇
- 三二・一〇・七一
- 三二・一〇・七二
- 三二・一〇・七三
- 三二・一〇・七四
- 三二・一〇・七五
- 三二・一〇・七六
- 三二・一〇・七七
- 三二・一〇・七八
- 三二・一〇・七九
- 三二・一〇・八〇
- 三二・一〇・八一
- 三二・一〇・八二
- 三二・一〇・八三
- 三二・一〇・八四
- 三二・一〇・八五
- 三二・一〇・八六
- 三二・一〇・八七
- 三二・一〇・八八
- 三二・一〇・八九
- 三二・一〇・九〇
- 三二・一〇・九一
- 三二・一〇・九二
- 三二・一〇・九三
- 三二・一〇・九四
- 三二・一〇・九五
- 三二・一〇・九六
- 三二・一〇・九七
- 三二・一〇・九八
- 三二・一〇・九九
- 三二・一〇・一〇〇

国立病院長協議会加盟(会員七十二名)  
 クロスビーアメリカ病院協会理事長懇親会  
 クロスビーアメリカ病院協会理事長懇親会  
 病院格差及び差額徴収に関するアンケート依頼  
 クロスビーアメリカ病院協会理事長レセプション  
 病院の在り方。病院経営についてアンケート依頼  
 西村愛媛県病院協会長逝去  
 「雑誌病院」を一月号より当協会「機関紙」とする  
 ブロックinton、マンチエスター大学教授のイギリスに於ける社会保険及び病院の地位に関する講演会後援  
 会員名簿作成依頼  
 WHO労働衛生担当ブラボー氏と協会有志懇親会  
 千葉県民営病院協会を解散し千葉県病院協会を設立三十会員加盟  
 単価引上げ急速実現のため地方病院大会開催につき地方病院協会に連絡

二、事業に関する事項

A 決議

- 三一・〇・六〇
- 三一・〇・六一
- 三一・〇・六二
- 三一・〇・六三
- 三一・〇・六四
- 三一・〇・六五
- 三一・〇・六六
- 三一・〇・六七
- 三一・〇・六八
- 三一・〇・六九
- 三一・〇・七〇
- 三一・〇・七一
- 三一・〇・七二
- 三一・〇・七三
- 三一・〇・七四
- 三一・〇・七五
- 三一・〇・七六
- 三一・〇・七七
- 三一・〇・七八
- 三一・〇・七九
- 三一・〇・八〇
- 三一・〇・八一
- 三一・〇・八二
- 三一・〇・八三
- 三一・〇・八四
- 三一・〇・八五
- 三一・〇・八六
- 三一・〇・八七
- 三一・〇・八八
- 三一・〇・八九
- 三一・〇・九〇
- 三一・〇・九一
- 三一・〇・九二
- 三一・〇・九三
- 三一・〇・九四
- 三一・〇・九五
- 三一・〇・九六
- 三一・〇・九七
- 三一・〇・九八
- 三一・〇・九九
- 三一・〇・一〇〇

中央社会保険医療協議会委員の構成について(昭和三十一年度定期総会)  
 病院行政の一元化について(昭和三十一年度定期総会)  
 社会保険診療報酬一点単価即時引上について(昭和三十一年度臨時総会)

B 陳情

- 三一・〇・七〇
- 三一・〇・七一
- 三一・〇・七二
- 三一・〇・七三
- 三一・〇・七四
- 三一・〇・七五
- 三一・〇・七六
- 三一・〇・七七
- 三一・〇・七八
- 三一・〇・七九
- 三一・〇・八〇
- 三一・〇・八一
- 三一・〇・八二
- 三一・〇・八三
- 三一・〇・八四
- 三一・〇・八五
- 三一・〇・八六
- 三一・〇・八七
- 三一・〇・八八
- 三一・〇・八九
- 三一・〇・九〇
- 三一・〇・九一
- 三一・〇・九二
- 三一・〇・九三
- 三一・〇・九四
- 三一・〇・九五
- 三一・〇・九六
- 三一・〇・九七
- 三一・〇・九八
- 三一・〇・九九
- 三一・〇・一〇〇

完全看護並びに完全給食に関する陳情  
 看護婦の進学コースに関する陳情  
 現行税制に対する病院としての要請  
 病院行政の一元化に関する陳情  
 中央社会保険医療協議会委員選出方法確立に関し陳情  
 看護婦進学コースに関する再陳情  
 社会保険診療報酬支払促進について懇請  
 第二十五回全国公立病院長会の陳情について要請  
 社会保険診療報酬支払促進について懇請  
 社会保険診療報酬一点単価引上に関する陳情

C 会議

(A) 定期総会

- 三一・〇・六〇
- 三一・〇・六一
- 三一・〇・六二
- 三一・〇・六三
- 三一・〇・六四
- 三一・〇・六五
- 三一・〇・六六
- 三一・〇・六七
- 三一・〇・六八
- 三一・〇・六九
- 三一・〇・七〇
- 三一・〇・七一
- 三一・〇・七二
- 三一・〇・七三
- 三一・〇・七四
- 三一・〇・七五
- 三一・〇・七六
- 三一・〇・七七
- 三一・〇・七八
- 三一・〇・七九
- 三一・〇・八〇
- 三一・〇・八一
- 三一・〇・八二
- 三一・〇・八三
- 三一・〇・八四
- 三一・〇・八五
- 三一・〇・八六
- 三一・〇・八七
- 三一・〇・八八
- 三一・〇・八九
- 三一・〇・九〇
- 三一・〇・九一
- 三一・〇・九二
- 三一・〇・九三
- 三一・〇・九四
- 三一・〇・九五
- 三一・〇・九六
- 三一・〇・九七
- 三一・〇・九八
- 三一・〇・九九
- 三一・〇・一〇〇

大阪大学医学部附属病院

①昭和三十年歳入歳出決算承認に関する事項②昭和三十一年歳入歳出予算案に関する事項③定款中一部改正に関する事項④医療費制度の根本的確立に関する事項⑤中央社会保険医療協議会委員選出方法の確立に関する事項⑥病院行政の一元化に関する事項⑦病院の課税に関する事項⑧看護婦制度に関する事項⑨国際病院加盟に関する事項⑩医療施設に対する低利融資に関する事項⑪総事務署名人に関する事項

(b) 臨時総会

三一・一〇・六 東京都千代田区神田駿河台一ノ一 山の上ホテル

①新医療費体系に関する事項②長期低利融資機關に関する事項

(c) 臨時総会

三一・三・三三 東京都千代田区神田錦町三ノ二八 学士会

①社会保険診療報酬一点単価引上げに関する事項②昭和三十二年度予算案に関する事項③会議の運営に関する事項④議事録署名人に関する事項

(B) 理事会

(a) 定期理事会

三一・六・一六 大塚大学漢字部附属病院

①役員改選に関する事項②昭和三十年歳入歳出決算承認に関する事項③昭和三十一年度歳入歳出予算案に関する事項④定款中一部改正に関する事項⑤協会強化拡充に関する事項⑥医療費制度の根本的確立に関する事項⑦診療報酬適正化促進に関する事項⑧社会保険研究委員会常置に関する事項⑨健康保険法一部改正案審議未了に伴いこれが対策のため委員会設置に関する事項⑩新医療費体系の研究委員会設置に関する事項⑪社会保険診療報酬に於ける甲乙地区別を撤廃につき病院協会の立場から検討を要する事項⑫中央社会保険医療協議会委員選出方法の確立に関する事項⑬病院行政の一元化に関する事項⑭病院の課税に関する事項⑮社会保険診療報酬の所得税免除に関する事項⑯研究費の非課税措置に関する事項⑰看護制度に関する事項⑱協会事業の一として看護婦学校設置を強く要する事項⑲広報の強化に関する事項⑳国際病院連合加盟に関する事項㉑医療施設に対する低利融資に関する事項㉒薬品衛生材料医療器械器具廉価購入方策樹立に関する事項㉓病院建築を耐火構造化に要する費用の補助に関する事項㉔私立病院の設備改善に要する費用につき中小企業設備近代化法案と同様に無利子借受方策に関する事項㉕議事録署名人に関する事項

に関する事項

(b) 臨時理事会

三一・一〇・六 東京都千代田区神田駿河台一ノ一 山の上ホテル

①会長選出に関する事項②副会長及び常務理事選出に関する事項③積雪寒冷地加算点数に関する事項④議事録署名人に関する事項

(c) 臨時理事会

三一・三・三三 東京都千代田区錦町三ノ二八 学士会

①社会保険診療報酬一点単価引上げに関する事項②昭和三十二年度予算案に関する事項③議事録署名人に関する事項

(C) 代議員会

(a) 定期代議員会

三一・六・一六 大阪大学医学部附属病院

議案及び議決事項は何れも定期理事会と同じ

(b) 臨時代議員会

三一・一〇・六 東京都千代田区神田駿河台一ノ一 山の上ホテル

①理事改選に関する事項②監事改選に関する事項③議事録署名人に関する事項

(c) 臨時代議員会

三一・三・三三 東京都千代田区錦町三ノ二八 学士会

① 社会保険診療報酬一点引上げに関する事項②昭和三十二年予算案に関する事項③識事録著名人に関する事項

(D) 常務理事会

三・一・七・三 病院会館

① 故前上代会長に対する感謝に関する事項②定期総会に於ける決議事項対策に関する事項(A)医療費制度の根本的対策確立に関する事項(B)中央社会保険医療協議会委員選出方法の確立に関する事項(C)病院行政の一元化に関する事項(D)病院の課税に関する事項(E)着設制度に関する事項(F)代議員理事改選に関する事項(G)会員獲得に関する事項(H)完全看護完全給食に関する事項

三・一・七・四 病院会館

① 完全看護完全給食に関する陳情書提出に関する事項②現行税制に対する病院としての要望に関する事項③次期学会演題に関する事項

三・一・八・二八 病院会館

① 代議員選出に関する事項②社会福祉審議会の審議事項に関する事項③入院車庫承認制、完全寝具廃止内定等に関する事項④定期総会に於ける決議に関する事項(A)病院行政の一元化に関する陳情(B)中央社会保険医療協議会委員選出方法確立に關し陳情(C)故前上代会長に対する感謝⑤医系議員との懇談に関する事項⑥現行税制に対する病院としての要望書提出に関する事項

三・一・九・一四 病院会館

① 役員改選に関する事項②臨時総会開会に関する事項③高知県病院協会加入に関する事項④青森県病院協会解散に関する事項⑤新医療費体系に関する事項⑥新医療費体系研究に関する委員会設置に関する事項⑦WHOより日本政府への病院管理顧問「クロスビー」の日程に関する事項

三・一・一〇・二 病院会館

① 臨時総会対策に関する事項②新医療費体系対策に関する事項③WHOより日本政府への病院管理顧問クロスビーの日程に関する事項

三・一・一〇・一七 病院会館

① 常務理事の事務分掌に関する事項②委員会の活動強化に関する事項③積雪寒冷地の加算点数に関する事項④長期低利医療金融問題に関する事項⑤生活保護法医療扶助費の一部徴収に関する事項⑥定例常務理事会に関する事項

三・一・一一・二八 病院会館

① 社会保険診療報酬支払促進に関する事項②公立病院長会の陳情に関する事項③日本病院協会の国立病院部会(特定団体)創設に関する事項④病院事務管理研究委員会設置に関する事項⑤広報活動に関する事項⑥准看護婦の進学コースについての陳情に関する事項⑦一点単価引上げに関する事項⑧国際病院連盟出張者診察に関する事項

三・一・一一・一 病院会館

① 病院格付分類実施並に医療法中一部改正案対策に関する事項②一点単価問題に関する事項③特定病院団体長会議開会に関する事項④当協会会費徴収に関する事項⑤国際病院会議出席者に関する事項⑥積雪寒冷地手当に関する事項⑦会員名簿作成に関する事項⑧代議員選任届に関する事項⑨雑誌「病院」の本協会欄開紙に関する事項

三・一・一二・六 病院会館

① 社会保険診療報酬一点単価引上げに関する事項②単価引上げ実行委員会設置に関する事項③医療単価適正化推進協議会設置に関する事項④一点単価引上げ運動資金に関する事項⑤診療報酬淵払根絶対策に関する事項⑥病院行政の一元化に関する事項⑦当協会の実力増強に関する事項

三・一・一二・二七 病院会館

① 診療報酬一点単価引上げに関する事項②三十二年定期総会並びに学会大会に関する事項③三十一年度臨理事事会、代議員会、総会開会に関する事項④当協会の運営に関する事項⑤国際病院会議列席者に関する事項

三・一・一三 病院会館

① 単価引上げ運動に関する事項②健康保険法対策委員会に関する事項

三・一・一三・三三 学士会

① 社会保険診療報酬一点単価引上げに関する事項②三十二年歳入歳出予算案に関する事項③役員会、総会対策に関する事項

三・一・一三・三六

臨時理事会、代議員会、総会に於ける決定事項対策に関する事項

(E) 特定病院団体会

三二・二・六

①社会保険診療報酬一点単価引上げに関する事項②単価引上実行委員会設置に関する事項③医療単価適正化推進協議会設置に関する事項④一点単価引上げ運動資金に関する事項⑤診療報酬遅払根絶対策に関する事項⑥病院行政の一元化に関する事項⑦日本病院協会の実力増強に関する事項

(F) 委員会

(a) 新医療費体系研究委員会

三二・一〇・一〇 病院会館

格差に関する事項を審議

(b) 健康保険法対策委員会

三二・一〇・一三 病院会館

①積雪寒冷地手当に関する事項②一点単価引上げに関する事項

三二・一〇・二一 病院会館

①積雪寒冷地手当に関する事項②一点単価引上げに関する事項

三二・一〇・二九 病院会館

①一点単価引上案の審議②適正診療報酬(一点単価)原則案の審議③昭和二十七年三月の医療経済実態調査による資料に基づきスライドする④スライド作成委員決定

三二・二・一三 病院会館

①診療報酬スライド案の審議②厚生省案、他団体の単価案の審議

三二・二・二六 病院会館

①診療報酬スライド案の審議②厚生省案の審議

三二・三・七 病院会館

①改正健康保険法案に関する事項②スライド案に関する事項③単価引上げに関する事項

(c) 一点単価引上実行委員会

三二・二・二六 病院会館

①昭和二十七年三月の医療経済実態調査による資料を基として物価をスライドした案の審議②厚生省単価案の審議

三二・三・一一 病院会館

①医療単価適正化推進協議会資料特別委員会に関する事項②単価引上げ運動に関する事項

(d) 医療単価適正化推進協議会

三二・二・一八 日本医師会館

①日病、日医、日歯、厚生連の四団体で結成し単価引上げ実現のため本協議会設置②各団体より代表三名、資料特別委員四名、幹事一名選出③本協議会に於ては速やかに具体策を決定し正式運動とするが、それまでの期間は従来の運動を継続して行うことを決定

(e) 医療単価適正化推進協議会資料特別委員会

三二・二・一八 日本医師会館

運営方法について協議

三二・二・二六 日本医師会館

- 日本病院協会の資料を提出し審議された
- 三三・三・四 日本医師会館
- 日本病院協会の資料につき審議
- 三三・三・二二、 日本医師会館
- 日本病院協会の資料につき審議
- 三三・三・二二 日本医師会館
- 日本医師会幹部総辞退に伴い今後の本委員会運営につき協議の結果一応休会に決定

(f) 看護制度研究委員会

- 三三・七・六 病院会館
- 准着の進学コースについて審議
- 三三・七・一七 病院会館
- ①准着の進学コースについて審議②准着認婦の進学コースに関する陳情書作案③准着の進学コースを検討するため小委員会設置決定
- 三三・七・二三 病院会館(小委員会)
- 准着の進学コースについて審議
- 三三・八・一
- 准着認婦の進学コースに関する陳情書提出
- 三三・一一・一四 病院会館
- 准着認婦の進学コースに関する陳情を行い救次関係者と面談して主意を要請したが、保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部を改正する省令が公布された内容には陳情主意に添わない点があるので、省令を検討した。再陳情書案を作案した。
- 三三・一一・一

准着認婦進学コースに関する再陳情

(g) 広報委員会

- 三三・七・一六 病院会館
- ①国際病院連盟加盟につき渡欧した多賀一郎氏の滞欧紀行文②完全看護並びに完全給食③医系議員との懇談会
- 三三・八・二八 病院会館
- ①論説は医療原価の算定②社会福祉法人医療施設の基準案③国際病院連盟ストーン氏の書翰
- 三三・一〇・二 病院会館
- ①論説は支払基金の合理的運営の要望②新医療費体系中間報告③医療法人の法律改正運動
- 三三・一一・一五 病院会館
- ①論説はクロスビーの感想②全国公立病院長会議③新医療費体系専門委員の活動
- 三三・一一・一四 病院会館
- ①新年号巻頭言は会長のものを出稿する②会員中よりアンケートを求め掲出③会員の研究のため質疑及び紙上討論を行う
- 三三・一一・二一 病院会館
- ①健康保険の重要問題アンケート②国際病院連盟の活動状況③会員に有利な広告④看護制度に関するアンケート⑤サブタイトルは「日本病院協会々報」とする
- 三三・一二・二七 病院会館
- ①論説は単価値上要求の理由②国会情報③健康保険問題アンケート

(h) 税専門委員会

- 三三・八・二八
- 現行税制に対する病院としての要望を関係省に提出陳情



三、日本病院学会

A 第六回日本病院学会総会

三一・六・一七 大阪大学医学部附属病院

B 評議員会

三一・六・一五 大阪中央電気倶楽部

C 見学会

三一・六・一八

① 国立大阪病院 ② 武田薬品工業株式会社大阪工場

D 観光会

三一・六・一九

① 大阪市内 ② 法隆寺 ③ 奈良

E 大会宿題打合せ

三一・一・一三

厚生省病院管理研修所

① 三十二年度大会宿題「病院事務合理化」につき病院事務組織を系統別に④庶務⑤会計⑥医事⑦統計管理⑧用度整備に区分し担当を決定②本調査完了後は病院事務管理研究委員会に移行する。

三一・一・一〇

病院会館

調査様式を各部門につき検討

三一・一・二四

病院会館

① 調査様式を決定②調査部門の行う調査対照施設施錠の検討

三一・一・一八

病院会館

調査回答について検討

三一・一・一

病院会館

宿題報告について検討

F 地方学会

三一・一〇・二七

三重県病院協会に於て開催 守屋常務理事出席

三一・一〇・二〇

和歌川準に於て開催 神崎副会長出席

講習会

三一・一〇・二二

宮城県病院協会に於て原価計算講習会 神崎副会長出席

三一・一〇・一

公的医療機関連盟に於て新医療費体系講演会 神崎副会長出席

会員病院数と病院数・会員病床数と病床数との比率

(1) 地方病院協会

協会名	病院数	病院協会 会員数	病院数と 会員数との 比率%	昨年に比し 増△減	病床総数	会員病床数	比率%	備考
北海道	364	-	-	-	34,299	-	-	
青森	67	-	-	△ 42	8,601	-	-	3.1.9.4 退会
岩手	79	29	35.95	-	8,888	3,722	41.87	
宮城	124	51	41.13	△ 1	13,500	9,235	68.41	
秋田	46	6	13.04	△ 6	6,543	1,980	30.26	
山形	56	44	78.57	2	7,634	6,131	80.31	
福島	95	67	70.53	51	10,127	7,885	77.87	
茨城	106	-	-	-	9,463	-	-	未加盟
栃木	90	16	17.78	△ 15	7,487	2,108	28.16	
群馬	71	33	46.47	-	7,765	4,468	56.69	
埼玉	164	34	20.73	△ 10	11,357	2,228	19.62	
千葉	188	30	15.96	7	17,586	4,014	22.83	
東京都	524	123	23.48	-	64,710	32,550	50.3	
神奈川県	171	2	1.17	1	21,183	73	0.34	協会未設
新潟	99	43	43.43	△ 33	13,360	9,854	73.76	
富山	67	51	76.12	△ 7	6,581	4,706	71.50	
石川	83	21	25.3	△ 1	7,805	1,748	22.40	
福井	47	18	38.3	△ 1	4,132	1,842	44.57	
山梨	45	17	37.78	3	4,216	1,291	30.62	
長野	126	36	28.51	△ 4	11,172	4,414	39.51	
岐阜	92	76	82.61	-	8,107	6,032	74.41	
静岡県	79	41	51.9	-	11,277	5,013	44.45	
愛知県	256	131	51.17	△ 4	23,174	15,474	66.77	
三重	101	28	27.72	12	9,287	4,146	44.64	
滋賀	34	24	70.59	-	3,888	2,920	75.1	
京都	139	17	12.23	△ 33	16,536	6,334	38.3	
大阪	306	151	49.35	△ 76	35,490	22,768	64.15	
兵庫県	217	95	43.78	10	22,099	15,995	72.38	
奈良	43	15	34.88	1	3,883	1,542	39.71	
和歌山	38	4	10.53	△ 26	5,846	1,278	21.86	
鳥取	26	7	26.92	-	3,742	1,434	38.32	
島根	36	31	86.11	3	4,668	4,346	93.1	
岡山	135	-	-	-	15,589	-	-	未加盟
広島	170	-	-	-	13,896	-	-	協会未設
山口	117	27	23.08	-	11,296	不明	?	
徳島	60	-	-	-	5,576	-	-	協会未設
香川	64	60	93.75	2	6,587	6,300	95.64	
愛媛	75	30	40.00	-	7,428	4,513	60.67	
高知	70	42	60.00	42	6,695	3,674	54.89	3.1.9.5 加盟
福岡	265	74	27.92	△ 9	30,066	17,268	57.43	
佐賀	65	34	52.31	2	6,257	4,274	68.31	
長崎	105	-	-	-	9,923	-	-	協会未設
熊本	107	-	-	-	12,185	-	-	協会未設
大分	57	-	-	-	5,105	-	-	協会未設
宮崎	89	-	-	-	6,652	-	-	協会未設
鹿児島	114	-	-	-	10,438	-	-	協会未設
計	5,472	1,508	27.56	△ 131	572,089	221,560	38.73	

(2) 特定病院団体

県立	287	124	43.21	-	52,490	23,228	44.25	
国立	76	72	94.66	72	27,200	26,710	98.20	3.1.1.0.1.2 加盟
公立	753	93	12.35	-	78,464	23,353	26.69	
日赤	108	98	90.74	-	22,387	12,100	54.05	
済生会	63	44	69.84	-	6,725	5,616	83.51	
医育機関	87	9	10.34	-	33,498	6,272	18.72	
計	1,374	440	32.02	72	220,764	97,279	44.06	

財 産 目 録

銀行預金	住友銀行神田支店	121,513	
	富士銀行本郷支店	5,163	126,676
振替貯金	東京貯金局		20,265
未収入金	31年未収会費	1,203,500	
	過年度分会費	677,980	
	同 分担金	143,000	
	臨時会費	598,000	2,624,480
仮払金	東京病院協会		21,609
立替金	診療報酬改正委員会立替		13,387
什器備品	応接セット 一式		45,500
	合 計		<u>2,851,917</u>

貸 借 対 照 表

昭和32年4月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
銀行預金	126,676	基 金	300,000
振替貯金	20,265	前期繰越金	808,350
未収入金	2,624,480	当期剰餘金	1,743,567
仮払金	21,609		
立替金	13,387		
什器備品	45,500		
合 計	2,851,917	合 計	2,851,917

昭和31年度歳入歳出決算書 (自昭和31年6月1日 至昭和32年4月31日)

社団法人 日本病院協会  
 歳入 2,894,336円  
 歳出 2,894,336円  
 差引残 0円

歳入の部

科目	歳入金額 円	予算額 円	比較△減 円	備考
31年度会費	2,158,500	3,362,000	△1,203,500	納入率 64%
過年度会費	102,120	780,100	△677,980	納入率 15%
過年度分担金	-	145,000	△145,000	
過年度臨時会費	214,700	812,700	△598,000	納入率 36%
雑収入	148,062	147,000	1,062	原価計算要綱、預金利子、みのふあ-げん他 86,518円 人事部 61,544円
立替金戻入	-	13,387	△13,387	診療報酬適正委(12団体)立替金
仮払金	106,000	127,609	△21,609	仮払金入金
繰越金	164,954	164,954	-	
計	2,894,336	5,552,750	△2,658,414	

歳出の部

科目	歳出金額 円	予算額 円	比較△減 円	備考
事務費	1,373,720	2,157,800	△784,080	
給料	695,000	1,068,000	△373,000	25,000×10 20,000×10 15,000×10 9,500×10
手当	139,000	249,600	△110,600	賞与 2回
諸給	-	30,000	△30,000	
厚生費	89,000	160,200	△71,200	職員退職引当金
旅費交通費	410,720	600,000	△189,280	講習会、地方協会、陳情、その他旅費交通費
光熱水費	40,000	50,000	△10,000	光熱費
物件費	348,383	740,000	△391,617	
通信費	62,565	250,000	△187,435	地方病院協会、特定病院団体その他通信経費
消耗品費	30,395	50,000	△19,605	用紙文具事務用品
印刷費	90,825	250,000	△159,175	諸印刷経費
備品費	16,000	100,000	△84,000	備品経費
雑費	148,598	90,000	58,598	上条前会長記念品 100,000円 他諸雑費
会議費	137,387	250,000	△112,613	
総会費	98,389	100,000	△1,611	定期総会 1 臨時総会 2
役員会費	38,878	100,000	△61,122	理事会、代議員会 31,691円。常務理事会 7,187円
諸会議費	120	50,000	△49,880	特定団体長会
事業費	395,861	1,570,000	△1,174,139	
調査研究費	8,310	20,000	△11,690	医事機関誌購入
会報費	298,237	1,100,000	△801,763	印刷 160,000円。 通信費 67,962円。 雑費 7,275円。 編輯諸費 63,000円。
学会費	69,011	150,000	△80,989	学会経費
委員会費	20,303	300,000	△279,697	看護制度研究委 4616円。 広報委 1,760円。 税専門委 272円。 健保対策委 12,555円。 新医療費体系医 1,100円
借室料	300,000	360,000	△60,000	事務所借室料
顧問料	-	150,000	△150,000	
預金払戻	7,200	7,200	-	会費前受払戻
仮払金	21,609	-	21,609	東京病院協会
予備費	-	37,750	△37,750	
渉外費	163,235	280,000	△116,765	渉外経費
次年度繰越	146,941	-	146,941	銀行預金 126,676円。 振替貯金 20,265円
計	2,894,336	5,552,750	△2,658,414	

上記について監査した結果、相違のないことを認めます。

昭和32年6月28日

監事 石川正臣  
 監事 伊藤吉孝

昭和32年度歳入歳出予算書

(自昭和32.4.1  
至昭和33.3.31)

社団法人 日本病院協会

歳入 6,766,080 円  
歳出 6,766,080 円  
差引残 0

歳入の部			
歳入科目	予算額	31年度比較△減	備考
会費	6,554,080 円	1,454,280 円	
32年度会費	3,440,000	78,000	1,720 会員×@2,000 円
過年度会費	2,384,880	1,604,780	31年度分 1,701,500 円, 過年度分 683,380 円
過年度分租金	145,000	-	
過年度臨時会費	584,200	△ 228,500	
雑収入	212,000	65,000	
雑収入	212,000	65,000	人事部 149,000 円 原価計算プリント 3,000 円 広告料 50,000 円×12=60,000 円
立替金戻入	-	△ 13,387	
立替金戻入	-	△ 13,387	
仮払金	-	△ 127,609	
仮払金	-	△ 127,609	
繰越金	-	△ 164,954	
繰越金	-	△ 164,954	
計	6,766,080	1,213,330	
歳出の部			
歳出科目	予算額	31年度比較△減	備考
事務費	1,661,240 円	153,440 円	
給料	1,176,000	108,000	29,000 円, 25,000 円, 22,000 円, 9,000 円(タイピスト)
諸手当	271,200	21,600	賞与 98,000 円×12=1,176,000 円, 時間外勤務手当 3,000 円×12=36,000 円
諸給	20,000	△ 10,000	臨時雇上
厚生費	194,040	33,340	764,40 円 職員健康費, 117,600 円 養老金
需要費	4,265,000	695,000	
総会費	120,000	20,000	定期総会 1, 臨時総会 1
役員会費	120,000	20,000	常務理事会, 理事会, 代議員会
諸会議費	50,000	-	地方協会長, 特定病院団体長, その他諸会議
委員会費	380,000	80,000	各種委員会
学会費	250,000	100,000	日本病院学会諸経費
会報費	1,100,000	-	内訳別紙
旅費交通費	650,000	50,000	講習会その他一般出張
通信運搬費	280,000	30,000	通信運搬費
消耗品費	60,000	10,000	用紙文具事務用品
印刷製本費	270,000	20,000	諸印刷製本費
備品費	110,000	10,000	タイプライターその他備品
光熱水費	50,000	-	電灯暖房料
借室料	360,000	-	30,000 円×12 事務室借室料
調査研究費	290,000	270,000	調査研究費
図書費	80,000	80,000	各種図書購入費
雑費	95,000	5,000	諸雑費
諸費	800,000	370,000	
国際病院連盟経費	370,000	370,000	国際病院連盟会費 70,000 円 国際病院会議出張補助 300,000 円
渉外費	280,000	-	
顧問料	150,000	-	顧問嘱託料
予備費	39,840	2,090	
予備費	39,840	2,090	
預り金払戻	-	△ 7,200	
預り金払戻	-	△ 7,200	
計	6,766,080	1,213,330	

会 報 費 明 細 書

病院総合通信 毎月 15 日発行予定

科 目	金 額		備 考
印 刷 費	694,000		
		489,600	P20のもの 3,500部 40,800 × 12
		15,000	帯封代
		14,400	写真挿入費 10回 @ 1,200 × 12
		12,000	穴あけ費 3,500部 1,000 × 12
		13,000	原稿用紙 3連
		150,000	綴込表紙 3,000部 @ 45.00 3,000部 × 50円
編 集 費	60,000	60,000	近藤氏囑託料
謝 金	120,000	120,000	原稿料 10,000円 × 12
通 信 費	184,000		
		144,000	第三種 3,000部 × 12 × 4円
		40,000	第五種 @ 8.00 500部 × 8円
会 議 費	12,000	12,000	12回 1,000円 × 12
雑 費	30,000	30,000	運搬, 交通費外
計	1,100,000	1,100,000	

以上監査の結果正当なるものと認めます。

昭和三十三年七月九日

社団法人 日本病院協会

監事 石川正臣 


同 伊藤吉孝 


右承認しす


昭和三十三年七月九日


社団法人 日本病院協会


理事 橋本寛敏 


同 神崎三益 


同 佐谷有吉 

同 一見斗寛 

同 塩沃総 

同 并屋 

同 片山 


同 敷波義雄 


同 田中義邦 

同 佐藤馨 

同 参木锦司 

同 棚橋三郎 

同 小山武夫 

同 椎名泰三 

同 金子準二 

同

冬

同同同同同同同同同同同同同

渡	中	富	南	小	按	成	高	向	岡	田	武	中
辺	島	田	保	波	井	四	橋	島	崎	代	藤	院
		三	吉	坂	盛	牧		良	一	美	多	孝
				政	二	太	昇		郎	太	作	田
篤	正	郎	郎	小	櫻	郎	書	一	岡	田	武	院
篤	正	郎	郎	坂	櫻	成	書	岡	岡	代	藤	院

同同同同同

佐	鈴	近	植	牧
川	木	藤	松	野
誠	佐	大	銳	寅
一	内	郎	治	三
流	梨	正	植	三



同同同同同同同同同同同同同同

野鏡小字古青毫黑河藤淡佐許  
中 山 沃 山 玉 木 谷 田 合 掛 井 藤 山  
藤 松 勤 安 太 亮 牧 微 五 郎 敏 元 茂  
太 樹 夫 夫 郎 貴 三 郎 郎 一 隆  
郎 樹 夫 夫 郎 貴 三 郎 郎 一 隆

同同同同同同同同同同同同同同

柳岡多小竹太太山名長瀬三  
武 那 賀 允 内 田 本 倉 岐 川 友  
夫 外 一 允 信 清 常 美 佐 功 義  
郎 志 郎 聰 藏 武 一 市 二 郎 功 雄  
郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎